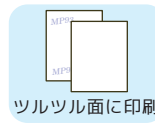


※開封後はなるべく早くお使いください（お買い上げ後6ヶ月程度）



転写マーク製作手順

※これは白トナー・RIPソフトがある場合の手順です。
RIPソフトがない場合の手順はこちらをご参照ください。

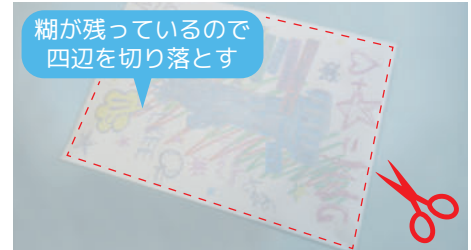
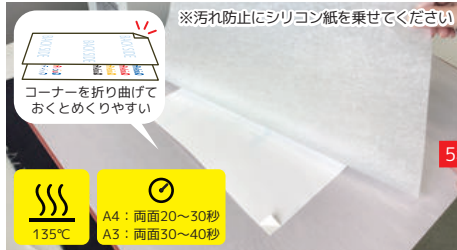


メタリック加工をする場合は、プリントの色を黒色かメタリックホイルに合わせた色にするよりきれいなメタリック加工ができます。白トナーの上にはメタリックが付きません。



1 MP93シートのツルツルした面にレーザープリンタで印刷。（用紙厚設定：ごく厚い紙1）

2 ラミネーターに通します。



3 表と裏の両面からプレス。
1度目はMPが上、2度目はプラスターが上

4 プラスターシートを上にして熱いうちに剥がします。

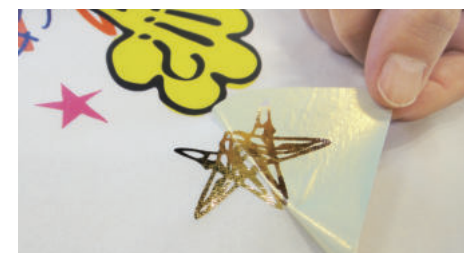
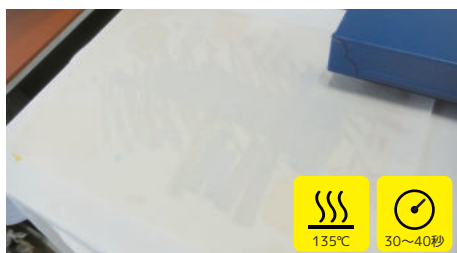
5 マークが出来上がったら、四辺を切り落とします。



6 布地に⑤で出来た転写マークを乗せ、プレス。

7 完全に冷めてから裏紙を慎重に剥がします。

8 メタリックホイルを配置します。
※メタリック加工をしない場合は⑩へ



9 リケイ紙または別売のフォースインペーパーSを乗せ、プレス。

10 完全に冷めてからメタリックホイルを慎重に剥がします。

11 リケイ紙または別売のフォースインペーパーSを乗せて再プレスしたら完成！

うまくいかない時は…

- ①でトナーが定着していない場合はプリンタの設定で用紙厚を厚く、ゴーストが出る場合は用紙厚を薄くしてください。
- ②③④の作業は時間を置かず立て続けに行ってください。
- ③④でうまく抜けない場合はプレス機温度の実測値をご確認ください。表示温度と実測値がズれている場合があります。
- ⑥と⑧のプレス温度とプレス時間は綿のTシャツ生地にプリントする場合を想定しての設定値です。ポリエステル生地の場合は125℃15秒、厚手の生地の場合は135℃40秒など、生地の種類に合わせて温度・秒数を調整してください。

製作動画



リケイ紙について

リケイ紙は転写紙と熱板の接着を防ぐためにシリコンを塗布した用紙です。1枚で何度でも使えます。オープンペーパーなどのシリコン紙でも代用できますが、押し込む効果が少ないため、付属のリケイ紙を使う事をおすすめします。綿生地へのプリントで洗濯強度を高めたい場合は別売のフォースインペーパーSをご使用ください。フォースインペーパーSのご購入はこちらから。



カラーレーザープリンターについて

紙詰まりなどで機器の内部に汚れが付着している場合などは、普通紙を連続通紙するなどして十分汚れを取り除いてから新しい用紙に印刷するようにしてください。なお、機器のメーカーでは純正品以外のコート紙などを使用することを認めておりませんので、この用紙の使用はあくまで自己責任でお願いします。

《お取り扱い上の注意》

- ・この用紙はカラーレーザープリンター専用ですので、それ以外のコピー機やプリンターでは使用しないでください。ご購入後6ヶ月以内を目処にご使用ください。
- ・125℃に耐えられる布地であれば圧着可能ですが、凹凸のある生地等特殊な生地の場合は十分なテスト後にお使いください。
- ・プリント作業は圧力と熱が均一にかかるプレス機を使用してください。
- ・プレス機に表示される温度と実際の表面温度とで差がある場合がありますので、十分にテストをして、ご使用のプレス機に合った温度設定でご使用ください。
- ・残った用紙は袋に戻して密閉し、直射日光を避け、乾燥した場所で水平に保管してください。
- ・この用紙の使用により生ずる一切の損害に対する賠償には応じかねます。（レーザープリンター、ラミネーター、プレス機等の機器を含む）